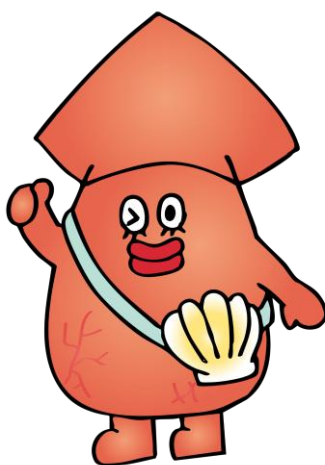


森町 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 概要版

「みんなでつくるゼロカーボンと
優しさ幸せ循環の「森町」」を目指して



森町公式キャラクター「いかもくん」

令和8年3月



北海道 森町

01

地球温暖化対策は未来からの宿題……………p02

地球温暖化とは何か、その原因、森町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）についてなど

02

地球温暖化対策の視点で森町をみてみよう！……………p05

森町の地域性、森町にある再生可能エネルギーなど

03

森町で排出されているCO₂の排出量……………p06

いまのCO₂排出量、これからのCO₂排出量

04

森町でできる地球温暖化対策……………p07

森林及び藻場によるCO₂吸収量、再生可能エネルギーの導入可能性など

05

森町における地球温暖化対策の目標……………p09

森町の二酸化炭素排出削減目標、地球温暖化対策の考え方、2050年ビジョンマップ

06

全町一体的な計画の推進……………p13

計画の進め方

番外編

地球にも、お財布にも優しい省エネと再エネについて……………p14

省エネとは何か、お家でできる省エネの取組

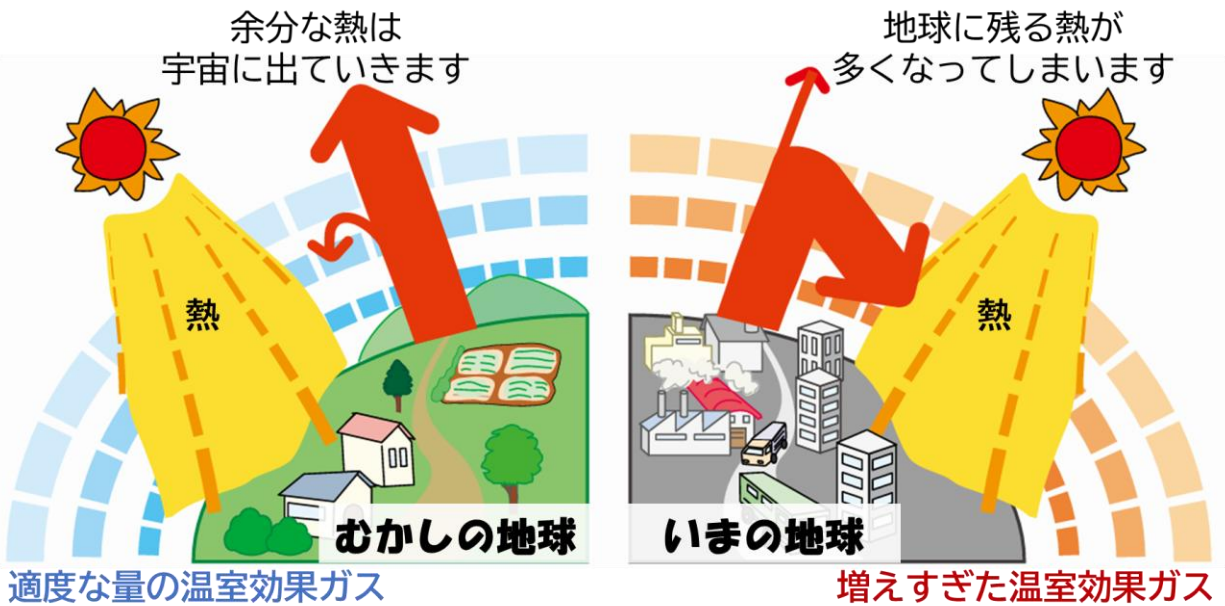
01 計画の基本的事項・背景

地球温暖化対策は未来からの宿題

地球温暖化ってなに？

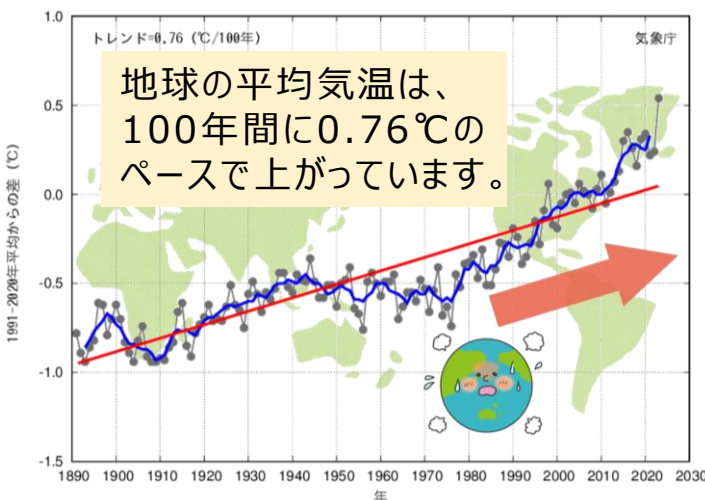
- 近年、私たち人間は、ものをたくさん作り、たくさん使う暮らしをするようになりました。その結果、二酸化炭素（CO₂*¹）、メタン、フロン類などの温室効果ガス*²が空気中に大量に出るようになってしまい、宇宙に逃げるはずの熱が放出されず、地表にたまりすぎてしまったことで、地球の気温が上昇しています。

これを**地球温暖化**といいます。



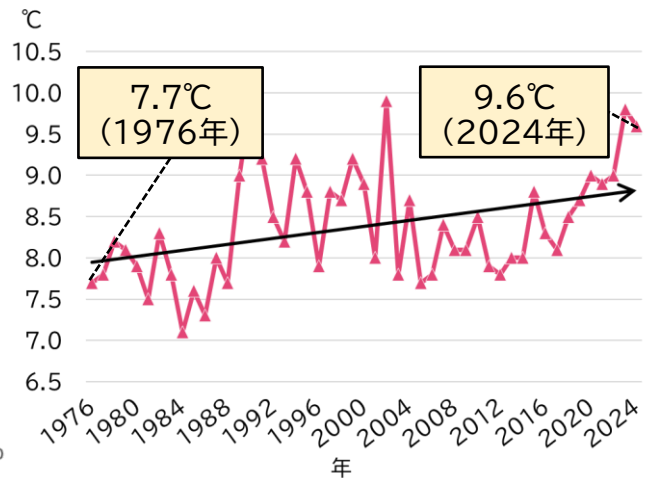
地球温暖化のメカニズム

出典：環境省



世界の年平均気温の推移

出典：気象庁



森町の年平均気温の推移

出典：気象庁

※ 1 CO₂：二酸化炭素のこと。石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やすと特に多くCO₂が発生します。

※ 2 温室効果ガス：熱をため込む性質を持つ気体。温室効果ガスには、CO₂やメタン、一酸化二窒素、フロンガスなどがあります。中でも一番多いのがCO₂です。

地球温暖化で何が起るの？

- このまま温室効果ガスが増えていくと、21世紀中に世界の平均気温が約4℃上がるとも言われています。平均気温がわずかに上がるだけで、気候や生き物にとっても大きな影響が出てしまいます。

①海水温の上昇



- 海は地球の熱の大部分を吸収しています。日本近海における海面水温は、2023年までの**約100年間で1.28℃の割合で上昇**しています。これは世界平均の2倍以上の上昇率です。

②異常気象の増加



- 地球温暖化が進むと極端現象（異常気象）が多くなります。例えば、**猛暑や大雨、大雪、干ばつといった極端な気象現象が頻発**し、私たちの生活にも大きな影響を与えるようになります。

③健康への影響



- 気温の上昇によって**熱中症リスクが増えます**。近年、夏季の猛暑日の増加と共に熱中症患者の発生数が増加しています。
- 外気温の上昇は**感染症のリスクも増大させています**。感染症をもたらす病原体は、気温上昇により活動が活発化する可能性があります。

④生態系への影響



- 地球温暖化をはじめとした気候変動は、陸上と淡水に生息する動物や植物などの大部分について、**絶滅のリスクが増える**と予測されています。

⑤食料への影響

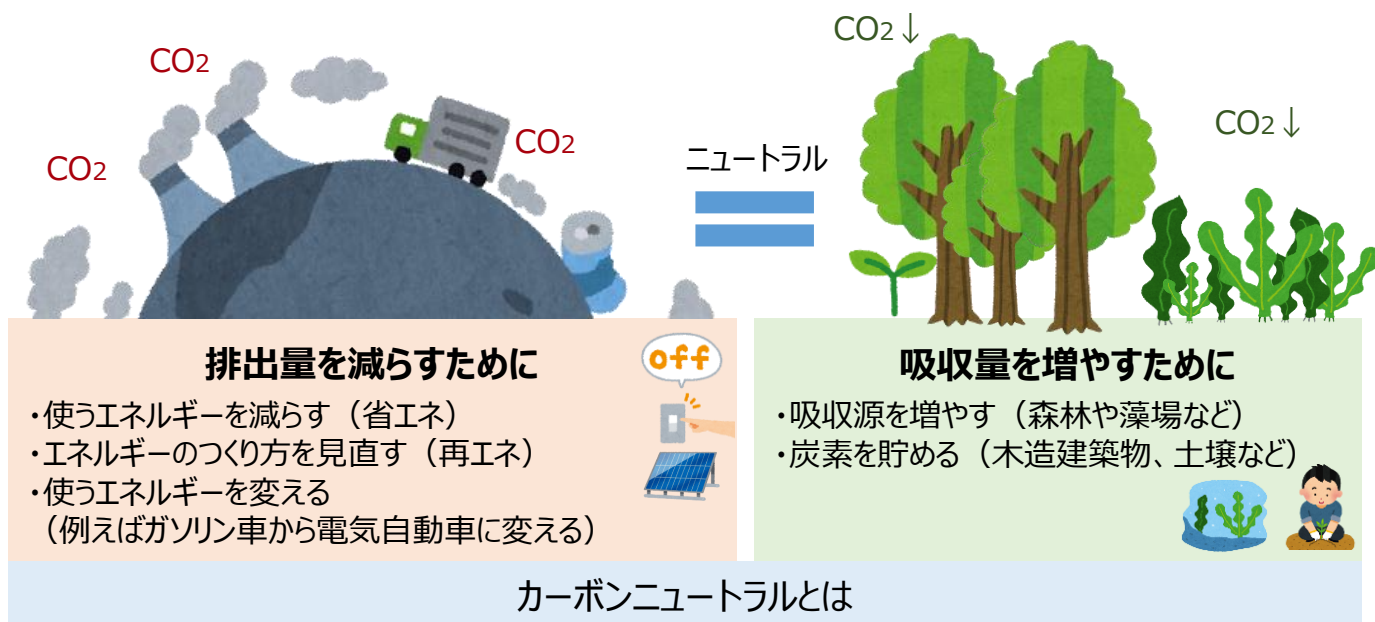


- 気温が高くなったり雨の量が増えたりすることで、お米や野菜、果物の収穫量や品質にも影響が出ると言われています。
- このまま地球温暖化が進むと、**世界中で十分な食糧物が確保できなくなる可能性があります**。

目指せ！カーボンニュートラル！

- 地球温暖化による気候変動を防ぐには**CO₂などの温室効果ガスを減らすことが必要**です。世界の国々では、CO₂などの排出量を減らし、森林などによってCO₂を吸収することで、温室効果ガス排出を実質ゼロにする「**カーボンニュートラル**」の達成が共通の目標となっています。
- 日本でも2020年10月に、2050年までにカーボンニュートラルを目指す宣言を行いました。

「カーボンニュートラル」とは・・・ 温室効果ガスの排出量と吸収量を等しくすること



この計画は、どんな計画なの？

- 森町でも、2023年3月に、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指す「**ゼロカーボンシティ宣言**」を表明しました。
- 本計画（森町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)）は森町の自然的・経済的・社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出抑制などを推進するための総合的な計画です。
- 森町の自然や環境を生かしたゼロカーボンシティの実現に向け、温室効果ガス（二酸化炭素排出量）の削減目標や町民・事業者・行政の取組を明確にし、**役場、町民、事業者が相互に協力・協働し合いながら、地域の責任者として地球温暖化対策に貢献することを目指します。**

北海道森町長 岡嶋 康輔 殿

貴町におかれましては、この度、地方公共団体として2050年の温室効果ガスの排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指すことを表明されました。今回の貴町の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で884地方公共団体となりました。我が国としての2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大変心強く感じております。

近年、国内各地で大規模な災害が多発しているところですが、地球温暖化の進行に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化などが予測されており、こうした私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われている気候変動問題に対処するため、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す必要があります。

現在、政府としては、2050年カーボンニュートラルや2030年度46パーセント削減目標の達成に向け、総炭素と産業競争力強化の同時実現を図る「GX実現に向けた基本方針」を閣議決定し、取組を進めているところです。環境省としても、炭素中立・循環経済・自然再興の同時達成に向け、環境循環共生圏の構築等により持続可能な新たな成長を実現し、将来にわたる質の高い生活の確保を目指してまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、2030年までの取組が重要です。このため、地球温暖化対策計画や地域脱炭素ロードマップに基づき、脱炭素先行地域づくりや、脱炭素の基盤となる重点対策の全国実施を進めていく必要があります。貴町及び他のゼロカーボンシティと連携しながら、地域脱炭素の更なる具体化・加速化を進めてまいります。

環境大臣 西村 州夫

森町ゼロカーボンシティ宣言

02 森町の地域特性

地球温暖化対策の視点で森町をみてみよう！

森町の地域性

- 森町は、噴火湾と北海道駒ヶ岳に抱かれた海と山の豊かな自然に恵まれ、**農業や畜産業、林業、水産業、食品加工業、観光業など多彩な産業**が息づくまちです。こうした自然とともに営まれてきた産業や暮らしの積み重ねが、森町ならではの魅力を形づくっています。



元祖いかめし



噴火湾産魚介類



濁川温泉



温泉熱を利用したトマト



道南スギを中心とした木材加工

再生可能エネルギーってなに？

- 再生可能エネルギー（再エネ）とは、資源に限りのある化石燃料と違い、自然界に常に存在し、**一度利用しても短期間で再生がすることができ、使用時に温室効果ガスを増やさない**エネルギーのことです。再エネの種類は、太陽光発電、水力発電、風力発電、地熱発電、バイオマス（木材や動植物などの生物資源）など、多岐にわたります。

再生可能エネルギー

（太陽や風、水、成長する木など）

うまく使えば無くならない

地域の資源を活用できる

二酸化炭素を増やさない

化石燃料

（石炭や石油、天然ガスなど）

資源に限りがある

ほとんどを海外から輸入している

燃やすと二酸化炭素が出る

森町の主な再生可能エネルギー

地熱発電



「森発電所」では、地下深きの熱でタービンを回して発電しています。

木質バイオマス



製材加工時に出る端材やバークを使い、木材の乾燥等の熱源として利用しています。

太陽光発電



小学校や各家庭等に設置され、「太陽光」から電気が生み出されています。

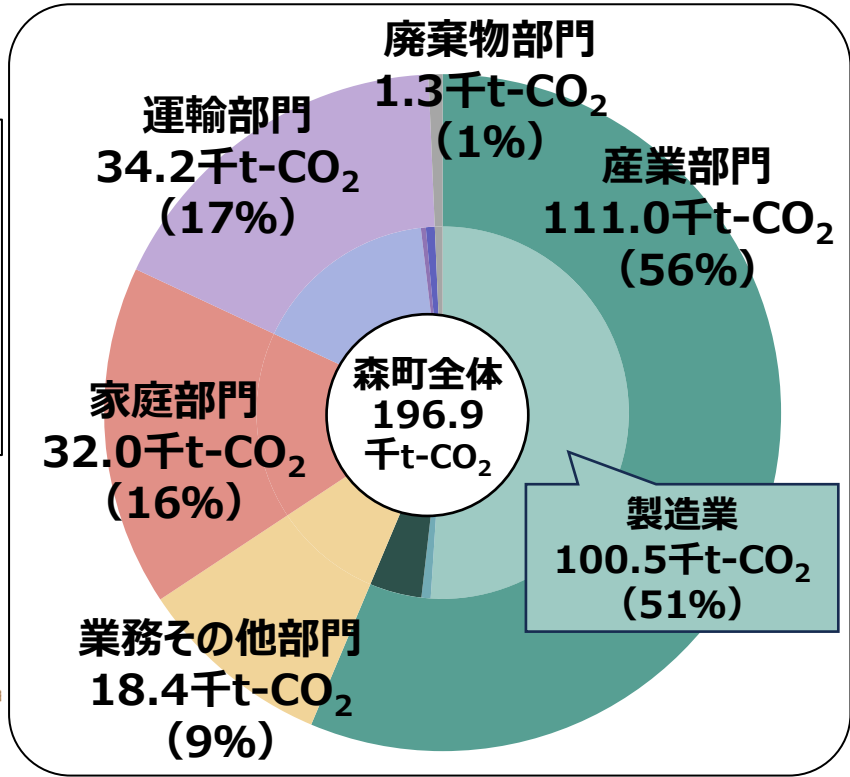
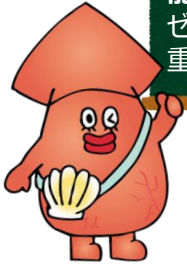
03 温室効果ガス排出量の推計

森町で排出されているCO₂の排出量

今のCO₂排出量

- 森町のCO₂排出量は、2022年度時点で196.9千t-CO₂と推計されました。**製造業からのCO₂排出量が全体の51%を占めており、**重点的な対策に取り組む必要があります。

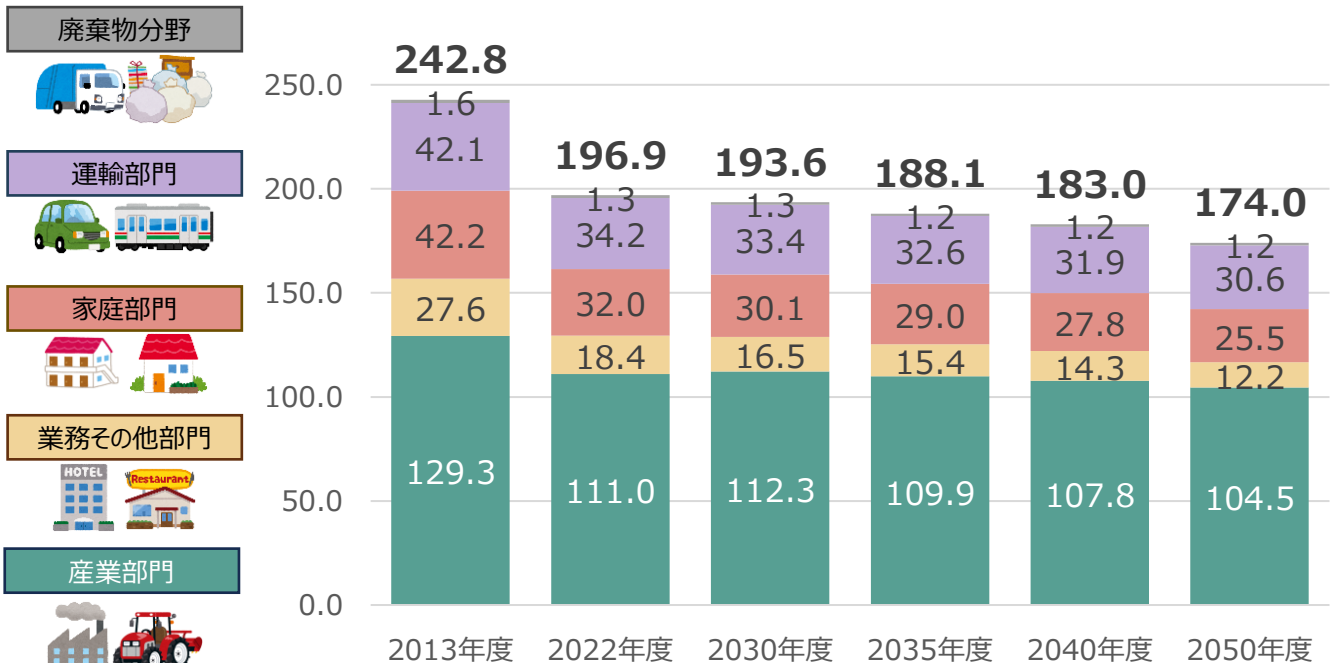
製造業分野における省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入が、ゼロカーボン実現に向けた重要なポイントです！



2022年における森町の部門別CO₂排出量

CO₂排出量の将来の予測

- 現状のまま特段の温暖化対策を講じない状態で、**人口や従業者数、自動車の台数の減少などだけを考慮して**2050年度まで推移することを想定し、将来のCO₂排出量を推計しました。



森町の部門別CO₂排出量の将来推計

森町でできる地球温暖化対策

森町の森林によるCO₂吸収

- 森町は、町域の7割以上を森林が占め、**森林によるCO₂吸収量は、年間43.9千t-CO₂**と試算されました。
- 今後もCO₂吸収量を維持・向上させるためには、**計画的な森林整備と伐採・再造林による森林の循環**を進め、健全な森林を育成していくことが重要です。これは、林業の活性化や地域資源の有効活用にもつながります。



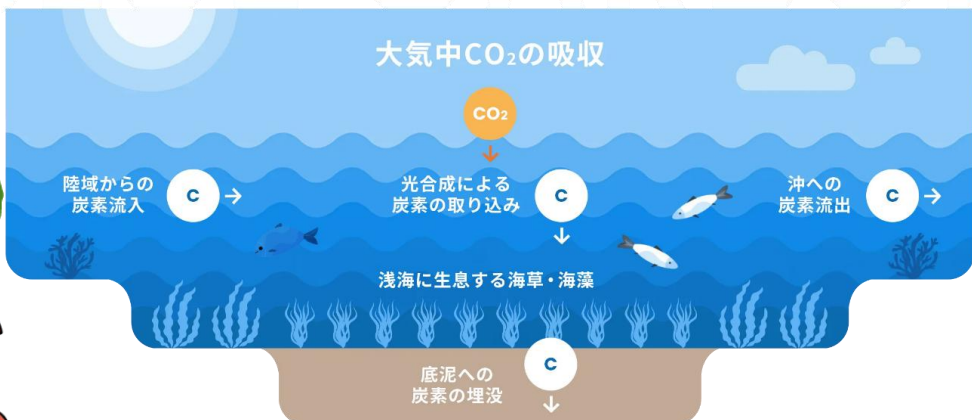
森林資源の循環利用イメージ

出典：林野庁

森町の藻場によるCO₂吸収

- 噴火湾に面する森町には、コンブやアマモ、スガモなどの藻場が広がっており、**海藻藻場によるCO₂吸収量は、年間約5.3千t-CO₂**を吸収すると試算されました。

森町の海の藻場は、魚のすみかであると同時に、二酸化炭素を吸収して地球温暖化防止に貢献しています。









ブルーカーボンとは

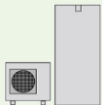


出典：環境省

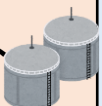

再生可能エネルギーの導入可能量

- 森町へ導入可能な再生可能エネルギーは、場所や利用可能量などによりますが、再生可能エネルギー種別での導入の考え方を「◎ 積極的に進める：オレンジ」、「○ 前向きに検討する：緑」、「△ 情報を集める：青」の3段階に分けて整理しました。

	太陽光発電 ◎	太陽光発電 ◎	風力発電 ○
利用モデルなど	建物系 (公共施設・住宅など) 	土地系 (農地・林地など) 	陸上風力 
導入の考え方	公共施設や避難施設等から優先的に導入し、住宅への補助は継続。	自然環境や景観に影響を与えない土地や遊休地等を対象として検討。	地域住民の合意や景観配慮などを前提に最適な導入場所を検討。

	中小水力発電 △	地熱発電 ◎	雪冷熱利用 △
利用モデルなど	河川・上水道 	バイナリー発電 	雪室・雪冷房システム等 
導入の考え方	町内河川は落差が小さく導入が難しいため、上水道での導入可能性を調査する。	定期的なメンテナンスにより、発電出力の維持と継続的な運営を目指す。	安定的な積雪の確保が導入の課題となる。

	地中熱利用 ○	太陽熱利用 △	木質系バイオマス ◎
利用モデルなど	地中熱ヒートポンプ 	太陽熱給湯 	木質ストーブ・ボイラー 
導入の考え方	公共施設・民間施設の更新時、コスト低減につながれば導入を推進する。	道内では事例が限られるため、技術動向を注視する。	木材加工所での木質ボイラーや木質バイオマス発電の導入が計画。

	廃棄物系バイオマス ◎	もみ殻バイオマス △
利用モデルなど	バイオガスプラント 	もみ殻燃料棒 
導入の考え方	家畜ふん尿や食品加工残渣を活用したバイオガスプラントの導入を検討。	現状発生しているもみ殻は、敷料として活用されている。

導入可能量
総合計

1,880.3
千t-CO₂/年

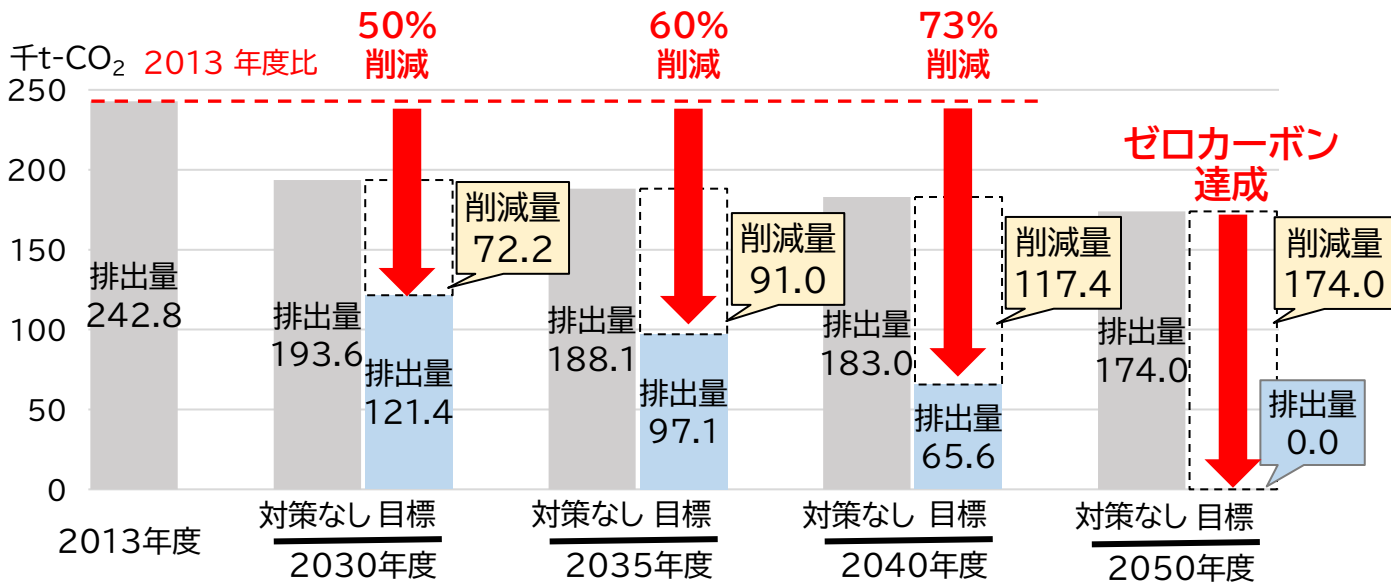
※電力排出係数が国の見通り、0.25kg-CO₂まで低下した場合の削減効果。

05 計画の目標と施策

森町における地球温暖化対策の目標

2050年度までの排出削減目標

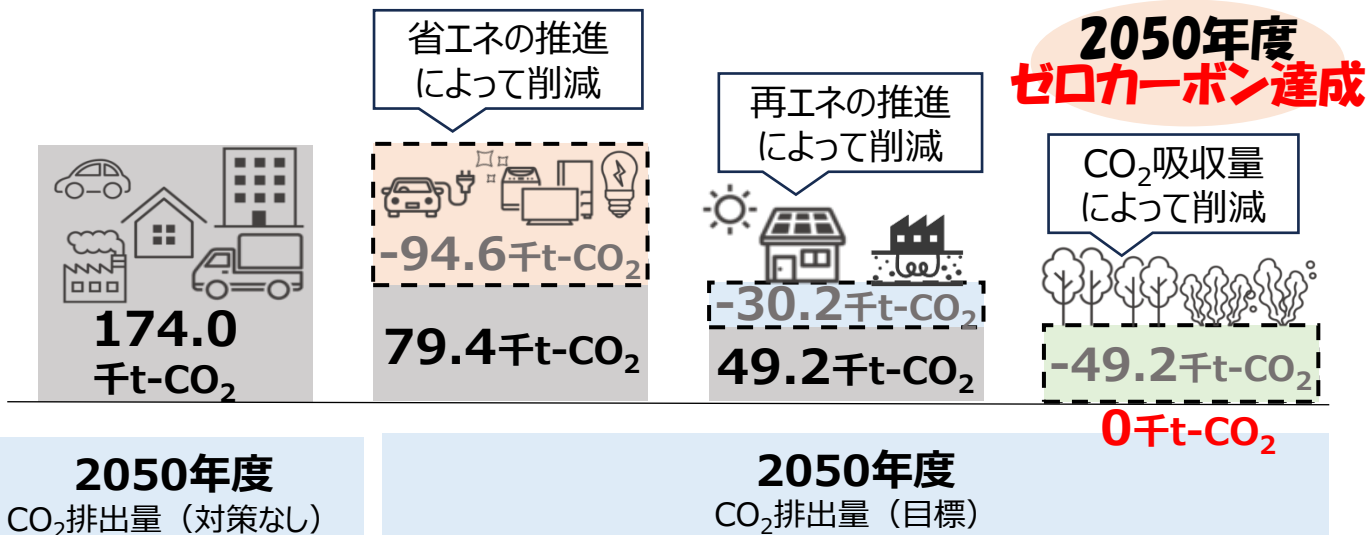
- 本町におけるCO₂排出量の削減目標は、国の地球温暖化対策計画に準じ、**2013年度と比べて2030年度に50%、2035年度に60%、2040年度に73%の削減、2050年度ゼロカーボンシティ実現（実質排出量ゼロ）**とします。



森町の二酸化炭素排出削減目標

目指せ！2050年ゼロカーボンシティ

- 2050年CO₂排出量実質ゼロの達成に向け、省エネ設備の導入や森林によるCO₂吸収、ブルーカーボン、町民の省エネ行動を踏まえ、再生可能エネルギーの導入目標を設定しました。
- 2050年度に向けては、町全体での取組を目指し、公共施設や住宅、工場等への太陽光発電や地中熱の導入をはじめ、幅広い分野で活用可能な再エネ導入を進めます。



地球温暖化対策の考え方

- ・ゼロカーボンの取組は、脱炭素の達成と同時に、**町が抱える地域課題の解決を図っていくことが重要**です。森町の地域特性やまちづくりの方向性を踏まえ、各取組の方向性を示すために「森町における地球温暖化対策の考え方（基本方針）」を設定しました。

みんなでつくるゼロカーボンと優しさ幸せ循環の「もいまち」 森町

基本方針①

災害から暮らしを守る 防災力の強いまち

- ・ 公共施設・避難拠点の再エネ導入と防災力向上
- ・ 家庭における再エネ・省エネの実践
- ・ 地域エネルギーの創出と循環利用

基本方針②

地域資源を活かした 一次産業が盛んなまち

- ・ 再エネ活用と資源循環による持続可能な農業
- ・ 森林資源の循環利用と地域内エネルギーの活用
- ・ 資源循環による持続可能な漁業

基本方針③

食・自然・歴史が彩る 商工観光でにぎわうまち

- ・ 脱炭素経営と地域資源を活かした商工業の振興
- ・ 脱炭素化と地産地消による観光業の活性化
- ・ 環境にやさしい交通・物流システムの構築

基本方針④

教育と啓発で 地域と未来を育むまち

- ・ 地域連携による次世代への環境教育の推進
- ・ 地域ぐるみの参加と発信による環境啓発活動
- ・ 地域の魅力と取組を発信する環境PRの推進

森町の課題を解決する4つの地球温暖化対策の考え方（基本方針）

基本方針	主な取組
①災害から暮らしを守る防災力の強いまち	・ 再エネ導入により、発災時及び災害発生後の応急、復旧対策の改善など、 災害に強く回復しやすい体制の強化 を図り、住民の生活や町外者の町内滞在時の安全確保を目指します。
②地域資源を活かした一次産業が盛んなまち	・ 豊かな自然環境や温泉など、森町の魅力的な資源を活かし、農林水産業における 副産物の削減や作業負担・経費の軽減 を図るとともに、 地域資源の循環 につなげます。
③食・自然・歴史が彩る商工観光でにぎわうまち	・ 商工業・観光・交通の各分野において、省エネや再生可能エネルギー、地産地消、環境配慮型イベント、次世代交通の導入を進め、脱炭素化と地域資源の活用を両立させながら、 森町の魅力向上と持続可能なにぎわい創出 を図ります。
④教育と啓発で地域と未来を育むまち	・ 再エネ見学や木育、漁業体験等による環境学習を行い、広報やSNSで取組を発信するとともに、森町らしい環境の取組をPRすることで、 町全体の参加拡大と魅力発信 につなげます。

もりまち 2050



防災

- ① 公共施設・避難拠点への再エネ導入
- ② 家庭における再エネ・省エネの実践
- ③ 地域エネルギーの循環利用

農林水産業

- ④ 再エネを活用した持続可能な農業
- ⑤ 森林資源の循環利用
- ⑥ 海洋資源の保全と活用

ビジョンマップ



商業・観光

- 7 商業の省エネ化と再エネの利用
- 8 観光拠点への再エネ・省エネ導入
- 9 環境にやさしい地域交通

教育・啓発

- 10 環境教育の推進
- 11 地域ぐるみの参加と啓発
- 12 脱炭素の取り組みに関する PR

全町一体的な計画の推進

どんな取組をだれがするの？

町民

- ・無理のない省エネの実践
- ・地域の美化・緑化活動への参加
- ・地球温暖化や脱炭素について学習
- ・住宅での再生可能エネルギーの利用



町

- ・役場業務での省エネの実践
- ・環境に優しい公共施設やインフラ整備
- ・広報や学習会で脱炭素の情報を発信
- ・町民や事業者の脱炭素の取組を支援
- ・町有林の整備



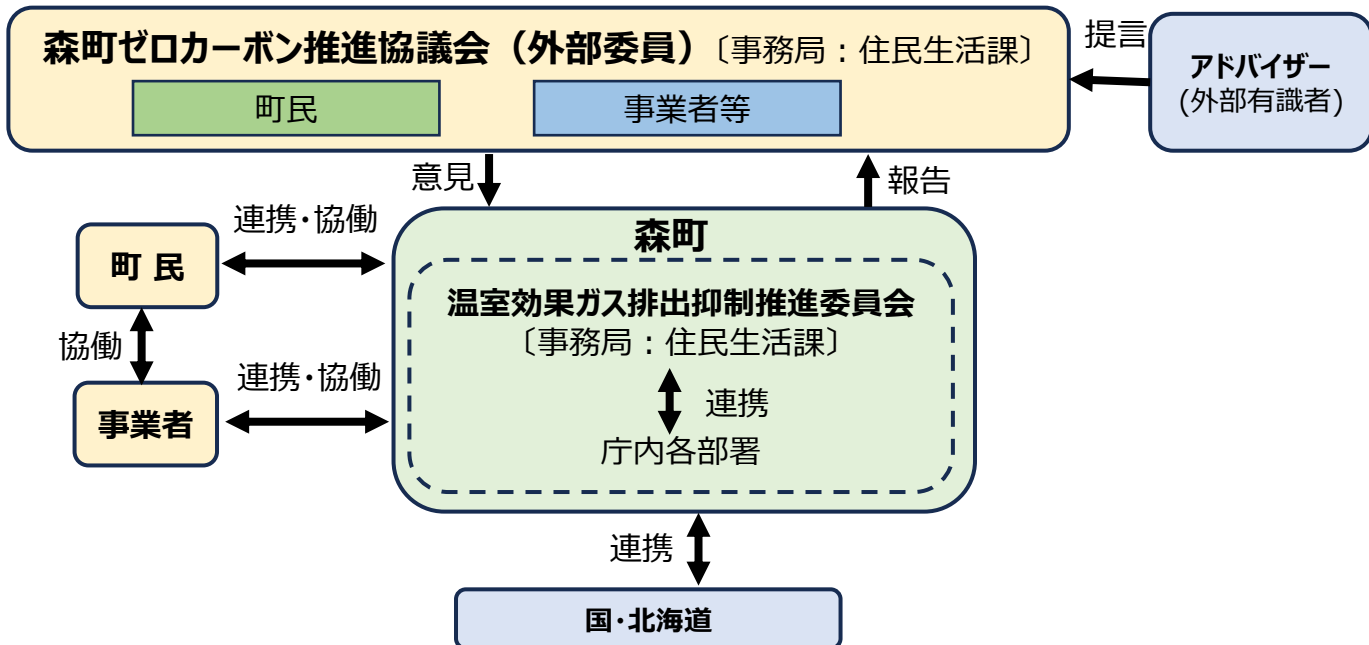
事業者

- ・業務での省エネや高効率な設備導入
- ・再生可能エネルギーの利用
- ・環境に優しい農林水産業の実践
- ・森林・藻場の適切な整備と利用
- ・社内教育などによる脱炭素の知見の蓄積



計画の推進体制と進捗管理

- ・ 計画の推進体制として、町民・事業者の代表者などをつくる**森町ゼロカーボン推進協議会**を設置し、**町民・事業者と連携・協働して取組を推進**します。庁内では、事務局を住民生活課に置き、各部署と連携し、**定期的に計画の進捗状況を把握**します。



計画の推進体制図

地球にも、お財布にも優しい省エネと再エネについて

省エネってなに？

- 省エネ（省エネルギー）とはエネルギーを効率よく使うことをいいます。
- エネルギーを節約しつつも、ガマンはしすぎない「**エネルギーのかしこい使い方や効率的な暮らし方**」が大切です。

賢く省エネに取り組む3つのステップ

- 1人ひとりの生活の中で、どのような省エネに取り組むことができるのか。3つの段階に分けて考えてみましょう。

① エネルギーをどれくらい使っているかチェック！

- 家電製品の使い方や使う時間帯、季節によって電気料金・使用量はどう変わるのか？ **使用状況を知ることが、具体的な省エネ対策を考える際の手ごかり**になります。

北海道ゼロチャレ！家計簿

電気やエネルギーの使用量を入力するとCO2の排出量が見える化できる北海道のウェブサイトです。



出典：北海道 (<https://zerocarbon.pref.hokkaido.lg.jp/>)



② 家電を換えてお得になるか調べてみよう！

- 10年前と比較して家電のエネルギー効率は大きく向上しています。そのため、製品によっては**買い換えることが一番の省エネにつながる場合**もあります。

環境省 しんきゅうさん

昔の家電と現在の家電のエネルギー使用量を調べられる環境省のウェブサイトです。



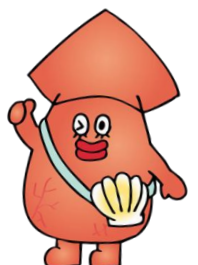
出典：環境省 (<https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>)



③ 自分のライフスタイルにあった省エネをしよう！

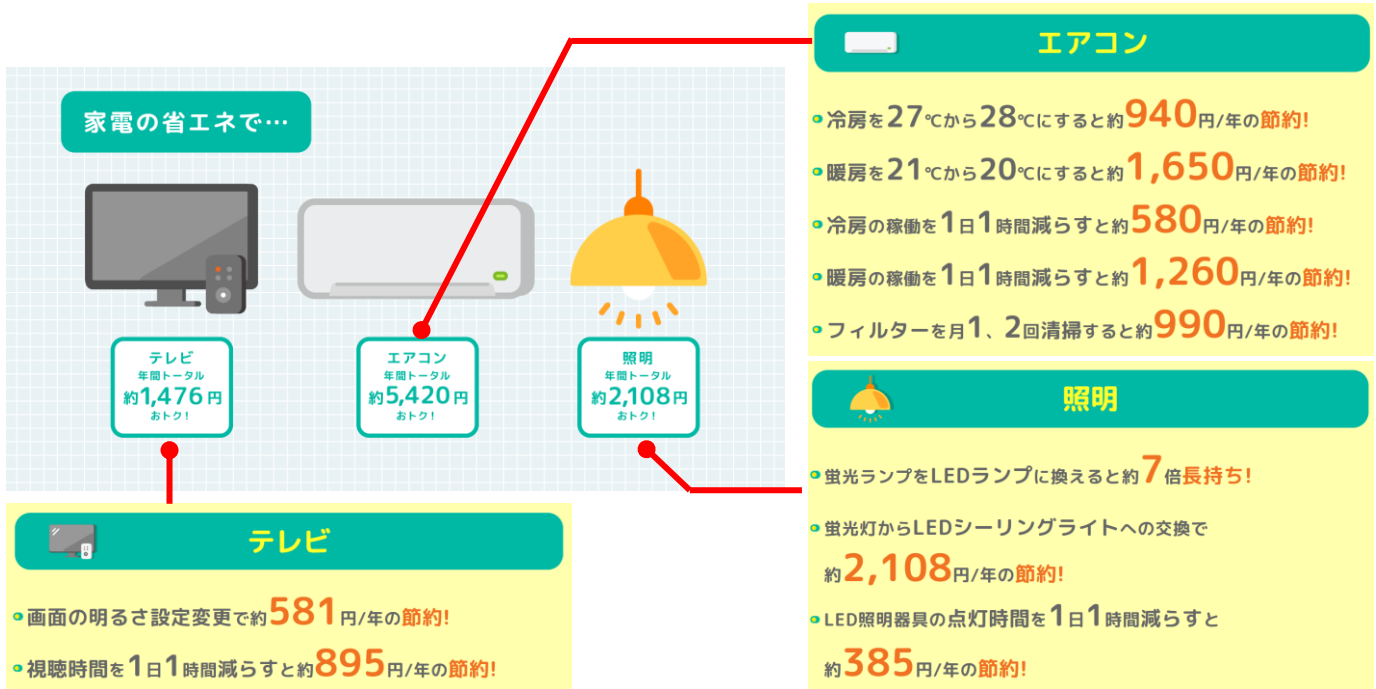
- 家庭では、さまざまな場面でエネルギーを使用しています。無理ない範囲でエネルギー使用機器や設備の**使い方を見直してみましよう**。

次のページからは実際にどんなことができるのか具体的な例を記載しています。ぜひご家庭などで取組の参考にしてください。



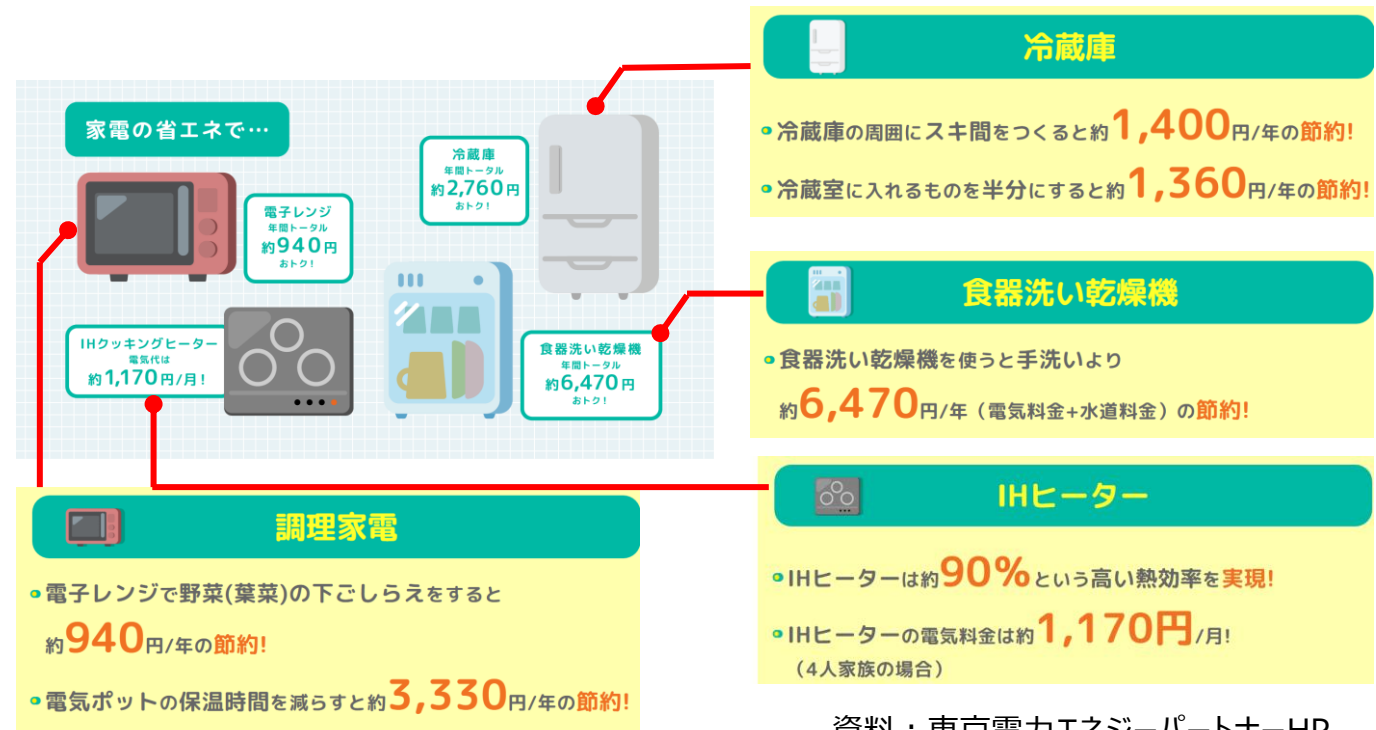
リビング編

- 過ごすことが多いリビングでは、エネルギーを使う機器や設備が多いかもしれません。無駄がないか**使い方を見直してみましょ**う。



キッチン編

- 電気、ガス、水道などたくさんのエネルギーを使うキッチンでは、調理器具や電化製品を効率的に使うことで、地球に優しく、かつ家計の節約にもなります。



食品編

- 食べられるのに捨てられている食品のことを食品ロスといいます。食品ロスの約半分は家庭から出ており、そのほとんどが手つかずの食品と食べ残しです。買いすぎや食べ残しを減らしましょう！

買いすぎを減らそう！

● 使い切れる分だけ買う

買い物に行く前に冷蔵庫の残りを確認して、買い物メモを活用しよう。



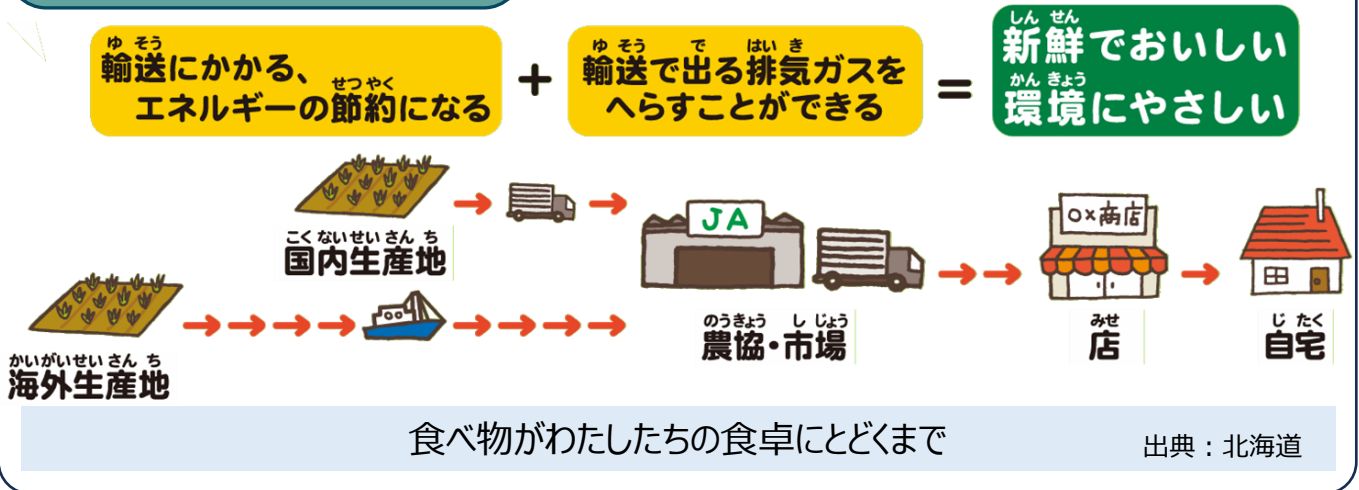
捨てるすぎを減らそう！

● 調理で捨てる部分を減らす

野菜を無駄なく使い、美味しく栄養たっぷり調理して食べてみよう。切り方を工夫すると生ごみの量は約10%も減らすことができます。



地元でとれたものを食べよう！



再エネを導入したいときは町にご相談ください！



- 町では、ご家庭で太陽光発電を導入する方向けの補助制度をご用意しています。
- ご関心のある方は以下お問い合わせ先までご連絡ください。

森町住宅用太陽光発電システム設置補助（概要）

- 対象者：町民、町に居住予定の方
 - 対象経費：太陽光発電システムを構成する機械購入費・設置費が対象
 - 補助金額：
【発電システム】1kWあたり5万円（上限3kWまで最大15万円）
【定置用蓄電システム】発電システムと同時に設置する定置用蓄電池 5万円
 - お問い合わせ先：森町企画振興課計画振興係
 - 電話番号：01374-7-1283
- ※予算には限りがあります。詳細はお問い合わせください。

森町ウェブサイトも
ご覧ください





**森町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
概要版
令和8年3月**

発行：森町

編集：森町住民生活課

〒049-2393

北海道茅部郡森町字御幸町144番地 1

TEL：01374-7-1084